

# 自治会アンケート結果について



市民部 市民サービス政策室

**1 アンケート結果**

**2 アンケートから見える課題**

**3 課題に対する取り組み**



# 1 アンケート結果

## ○アンケート実施概要

対 象：421自治会（箕面市内全自治会322団体・マンション管理組合99団体）

時 期：令和6年12月～令和7年1月

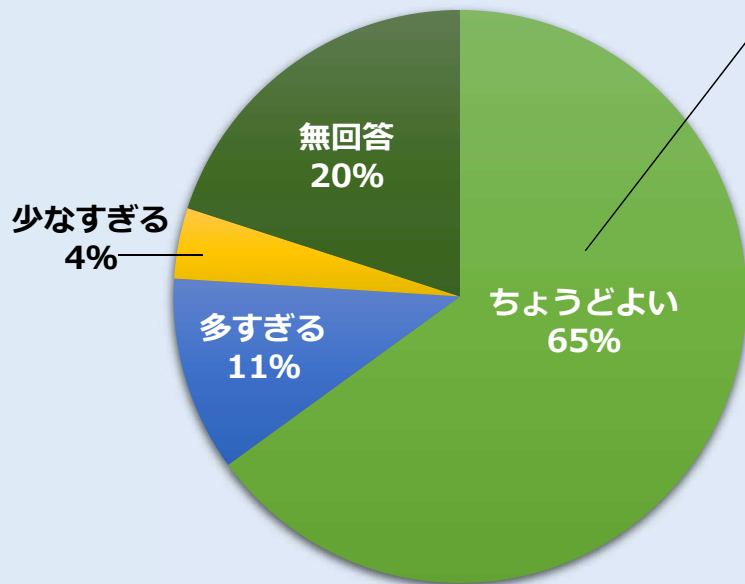
送付方法：郵送

回答方法：郵送または電子申請

回 収 率：56.5%（238自治会）

市内全世帯数 64,038世帯  
加入世帯数 33,037世帯  
加入率 51.6%  
（令和6年12月末現在）

Q.コミュニティ活動についてどう思うか



活動についてちょうどよいと感じている 65%

## コミュニティ活動の意義やメリット

### 環境面

- ・顔見知りが増え、隣近所との交流が生まれること（21%）
- ・補助金などを活用し、防犯灯や防犯カメラの設置ができること（20%）
- ・見守り活動や地域清掃などの実施により、こどもや高齢者が安心して暮らせる環境になること（11%）
- ・防災訓練をするなど、災害に強い地域になること（10%）

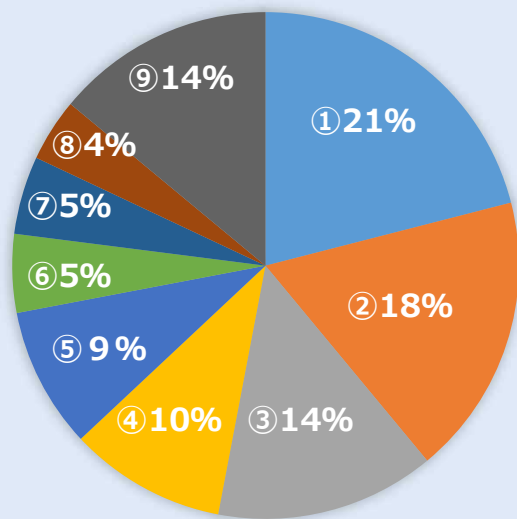
### 情報面

- ・地域や行政の情報が入りやすくなること（13%）
- ・行政へ要望したり、地域の代表として意見などを伝えやすくなること（12%）
- ・個人では解決困難な課題に地域全体で向き合い、取り組めること（9%）



# 1 アンケート結果

## Q.負担となっている活動



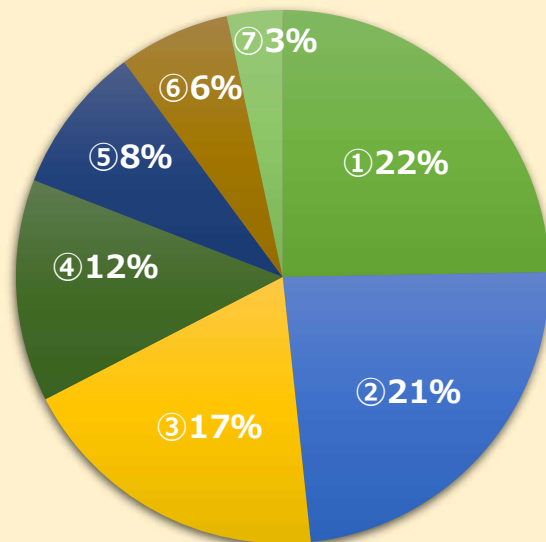
## 負担となっている活動

(コミュニティ活動が多すぎると感じている人への質問)

- ①行政や他の地域団体との連携 (21%)
- ②総会や役員会の開催 (18%)
- ③回覧板 (14%)
- ④敬老会、祭り、運動会などの地域のイベントの主催または協力 (10%)
- ⑤会員や近隣住民からの相談、苦情への対応 (9%)
- ⑥募金活動 (5%)
- ⑦経理事務 (5%)
- ⑧旅行・親睦会・新年会などの開催 (4%)
- ⑨その他 (14%)



## Q.自治会などの活動や運営面での課題や問題点はなにか



## 課題や問題点

- ①役員のなり手が少ないため、役員の負担が大きい (22%)
- ②高齢化により、活動に支障が出ている (21%)
- ③自治会活動への関心が低く、参加者が少ないため、新旧住民の交流が図りにくい (17%)
- ④自治会など未加入者への対応方針 (加入呼びかけなど) (12%)
- ⑤運営がアナログで非効率的である (8%)
- ⑥集会や活動を行う場所がない (6%)
- ⑦予算が少ない (3%)

### ◆会費徴収方法

年額で徴収：47.1%、月額で徴収：25.2%

会費徴収なし：20.5%

※会費の徴収が負担になるとの意見はなかった



## 2 アンケートから見える課題

その1

### 役員のなり手が少なく、役員の負担が大きい（22%）

- ・ 共働き世帯や子育て世帯が多く、役員のなり手が少ない。
- ・ 引っ越ししていないが、役員になりたくないため、自治会を退会する。

その2

### 高齢化により活動に支障が出ている（21%）

- ・ 現役世代は忙しく、自治会活動まで手が回っていない。
- ・ 仕事をしている人も多く、活動の幅を広げるのは難しい。

その3

### 住民の関心が低い（17%）

- ・ 自治会への関心が低く、参加者が少ないため、新旧住民の交流が図りにくい。
- ・ 自治会活動にメリットを感じない。

## 2 アンケートから見える課題

自治会の効率化・省力化のために、事業の見直しや工夫をした …34.5%  
していない…65.5%



### ◆事業の見直しや工夫をした自治会（34.5%）の主な取り組み◆

#### 行事の削減

##### ○親睦事業の廃止(17%)

(会長年齢)

|    |       |     |
|----|-------|-----|
| 1位 | 70歳代  | 33% |
| 2位 | 80歳以上 | 25% |
| 3位 | 60歳代  | 21% |
| 4位 | 50歳代  | 14% |
| 5位 | 40歳代  | 11% |

##### ○祭りやイベントの廃止(10%)

(会長年齢)

|    |       |     |
|----|-------|-----|
| 1位 | 80歳以上 | 25% |
| 2位 | 70歳代  | 17% |
| 3位 | 60歳代  | 11% |
| 3位 | 40歳代  | 11% |
| 5位 | 30歳代  | 10% |

#### 省力化

##### ○総会の書面開催(14%)

(会長年齢)

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 1位 | 40歳代 | 26% |
| 2位 | 50歳代 | 24% |
| 3位 | 70歳代 | 17% |
| 4位 | 60歳代 | 7%  |

##### ○回覧のデジタル化(9%)

(会長年齢)

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 1位 | 30歳代 | 67% |
| 2位 | 40歳代 | 32% |
| 3位 | 50歳代 | 10% |
| 4位 | 70歳代 | 4%  |

### 課題

#### その1

役員のなり手が少なく、役員の負担が大きい



#### その2

高齢化により活動に支障が出ている。



【自治会を続けるための効率化・省力化】が必要

## 2 アンケートから見える課題

### その3 住民の関心が低い

自治会活動に参加すると負担が増える、自治会活動まで手が回らない、自治会に加入することのメリットがない、自治会の必要性を感じないという人が増えている。

自治会加入者の中でも、自治会の活動内容に特に関心を持たずに加入している人もいる。

市として自治会に入るメリットを具体的に示すことで、加入するメリットがわかりやすくなり、さらには未加入者に対しての対応方針も定まり、自治会側も呼びかけが行いやすくなると思う。

自治会に入っていない人に対し、「自治会に入らない理由」を広聴し、調査する。

### (参考) ★北摂7市の自治会加入率の状況

北摂7市中箕面市の加入率は2位であり、他市状況を見ても加入者の大幅増は困難であるため、維持に重きを置き、負担をできるだけ軽減して「解散する自治会や退会者を作らない」ことを目指す。

| 市   | 令和3年度加入率 | 令和6年度加入率 | 増減        |
|-----|----------|----------|-----------|
| 高槻市 | 57.4%    | 54.8%    | ▲2.6%     |
| 茨木市 | 56.1%    | 51.1%    | ▲5.0%     |
| 摂津市 | 46.1%    | 41.5%    | ▲4.6%     |
| 吹田市 | 46.0%    | 41.7%    | ▲4.3%     |
| 箕面市 | 46.9%    | ※51.6%   | +4.7% (※) |
| 豊中市 | 37.9%    | 35.3%    | ▲2.6%     |
| 池田市 | 28.8%    | 24.2%    | ▲4.6%     |

※自治会のみ 44.1% ▲2.8%

(※)  
令和5年度よりみなし自治会を加入率の対象としたため、加入率が増加したもの



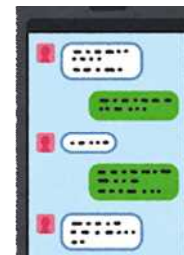
# 3 課題に対する取り組み（例示）～未来へつなぐ、持続可能な令和の自治会へ～

## （例1）回覧物などの削減・デジタル化

- ・コミュニティ関連の情報伝達手段として、回覧板を用いている割合が46%、掲示板を用いている割合が25%と多くの自治会が紙ベースでの情報伝達となっている。
- ・役員の負担軽減や若い世代の参加を促進するために、デジタルツールを活用した情報発信（回覧物など）を行い、活動方法の見直しを行う。
- ・市からのお知らせの回覧を自治会に依頼することを廃止する。



防犯カメラ作動中



## （例2）防犯・防災特化型自治会

- ・振興事業や祭りなど、イベントの負担や役員の負担が多いと感じる市民に対し、防犯と防災に特化した活動プランを提示。
  - ・災害発生時には、自治会単位で安否確認を行うため、自治会に加入することで隣近所の素早い安否確認ができ、多くの命を救うことができる。
- 阪神・淡路大震災では、約8割のかたが自治会など地域のかたに救出されているため、「命を守るための自治会加入」を促進する。

## （例3）自治会に対するイメージの広聴

- ・自治会に加入していない市民に対し、自治会のイメージや自治会に加入しない理由、どういう自治会なら加入するかなどを広聴し、聞き取った意見を自治会運営に反映してもらうよう、自治会に働きかける。
- ・令和7年度市民満足度調査で追加項目の設定やeリサーチによる調査を実施





### 3 課題に対する取り組み（例示）

#### （例4）時代に即した自治会案を提示

- ・時代に即した自治会の活動形態や運営方法の案を提示する。
- ・最小限の自治会の運営形態を示した上で、オプションでその他の活動などを選択することにより、多様な自治会運営が可能であることを周知する。



##### 基本メニュー

- ・会員 ○人以上
- ・会費 なしでも可  
（防犯灯、防犯カメラの経費のみ）
- ・清掃 クリーン作戦への参加など
- ・防災 全市一斉総合防災訓練、地区防災委員会への参加など



##### オプション

- ・イベント
- ・親睦会
- ・補助金の取得
- ・独居高齢者見守り活動（ごみ出し支援など）
- ・子ども見守り活動
- ・デジタル化



### 3 課題に対する取り組み（例示）

#### （例5）自治会加入者へのインセンティブ（えこひいき作戦）

- ・自治会への加入や子どもの見守り活動、地域の清掃活動などにおけるポイント制の導入。  
自治体加入時や獲得ポイントにより、さまざまなインセンティブを設定。  
（例）自治体加入時：自治会員優待カードの配布  
○○ポイント：プール・フィットネス等の施設利用割引  
防災グッズ、防犯グッズの配布  
○○ポイント：燃えないごみ袋の配布  
○○ポイント：駅前駐車場、駅前駐輪場の利用割引
- ・自治会に加入していることで受けられる特典の提示。  
（例）スマホ教室、親子野菜収穫体験、介護予防教室、健康教室など

課題に対する取り組みは、現時点でのアイデアベースの例示ですが、今後これらを含めて、自治会の課題解決に向けた取り組みを検討していきます。